



所沢市民文化センター ミューズ

2025年5月15日号 (年6回 1・3・5・7・9・11月号発行) 発行元 公益財団法人所沢市文化振興事業団
〒359-0042 埼玉県所沢市並木1-9-1 TEL.04-2998-6500

インフォ・マート

Info Mart

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <https://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol.137



チェコ・フィル

セミヨン・ビシュコフ [指揮]

▶▶P1

触れてみよう! 能楽の世界

能『二人静』

▶▶P3

北欧・スウェーデン の夏至祭

ヴェスタノー [スウェーデン伝統音楽]

▶▶P5



世界が絶賛する黄金の響き チェコ・フィル

ターリヒ、クーベリック、アンチェル、
ノイマンが育んだ奇跡のサウンド!

オーケストラの最高峰として世界中で絶賛を浴びるチェコ・フィルが20年
振りに所沢ミューズに登場! 現代最高の巨匠ビシュコフ、欧州を席卷する
気鋭のコベキナと共に紡ぐ、チャイコフスキー、ドヴォルジャークの名演奏
にご期待ください。



チェコ・フィルはターリヒのもと国際的な名声を確立
していく[1919年の演奏会]



ノイマンとは日本公演でも
数々の名演奏を繰り広げた
[ドヴォルジャークの録音]



クーベリックとチェコ・フィルは《プラハの春音楽祭》で
奇跡の共演を果たす[1990年]



称賛を集めるビシュコフと
チェコ・フィル
《チャイコフスキー・プロジェ
クト》



©Petra Hajska



ドヴォルジャークが指揮したチェコ・フィルの第1回
演奏会のプログラム[1896年]

比類なき栄光の歴史 ドヴォルジャークと共演

1896年に創設されたチェコ・フィル。
その第1回の演奏会とはなんとドヴォル
ジャーク自身の指揮による《新世界よ
り》だった。偶然とはいえこの演奏会は、
チェコ・フィルのその後の130年にお
よぶ輝かしい歴史を予見していたと言
わざるを得ない。チェコ・フィルは早くも
1901年に海外公演を実現させ、さ
らに1908年にはマラー自身の指
揮で交響曲第7番の初演を担うなど
着実に評価を高めていく。

第1次世界大戦の混乱のあと、1919
年にヴァーツラフ・ターリヒが首席指揮
者に就任すると演奏水準は飛躍的に
向上しイタリア、フランス、イギリスなど
で称賛を浴び、欧州屈指のオーケスト
ラの地位を確固たるものとしていく。

ブラハがナチスの占領下におかれた不遇
の時代(1939〜45年)を支えたのは、
ターリヒと若きフアエル・クーベリック
だった。クーベリックは戦後すぐに《プラ
ハの春音楽祭》を創設するなど、チェ
コ・フィルの名声を不動のものとする
が、共産主義体制を嫌い、1948年
イギリスへと亡命してしまう。後を継い
だカレル・アンチェルは混乱する楽団を
見事に立て直し欧州で称賛を集め、
1959年の日本ツアーも大成功へ導く。
このツアーは、偶然にも同時期に来日し

指揮活動から引退していたクーベリッ
クが大統領からの熱烈なオファーに
応え、1990年5月ついに42年振りに
祖国の土を踏み演奏史に刻まれる
奇跡の共演が実現したのだ。ヨーロッ
パ中を感動の渦に巻き込んだ《わが祖
国》は、翌91年に日本公演を実現させ
て日本の音楽ファンを歓喜させた。

巨匠ビシュコフと歩む チェコ・フィル黄金時代

チェコが民主化されて以降のチェコ・
フィルは、ビエロフラーヴェク、アシュケ
ナージ、インバルといった国際色豊かな
巨匠を指揮台に迎え、多様なレパート
リーを獲得し、ますます演奏水準を
向上させる。そして2018年にチェ
コ・フィルの100年を超える栄光のバ

ていたカラヤン&ベルリン・フィルと東
西名門オケ対決となったが、チェコ・
フィルに軍配を上げる識者も多く、
改めてその破格の実力を日本のファ
ンに印象つけた。

1990年《プラハの春》 永遠に語り継がれる名演

共産主義時代のチェコ・フィルは、東欧
の文化を象徴する楽団として優秀な
奏者を集め、国家の威信をかけた音
楽大使として世界中で演奏し、ウー
ィン・フィルやベルリン・フィルに並ぶ存在
としてファンを虜にする。この時代
1968年から1989年まで、長
きにわたってチェコ・フィルを支えたのが
ヴァーツラフ・ノイマンである。ノイマン
とチェコ・フィルは1969年以降、
7度にわたり日本公演を行っている
ので、その格調高く生命感にあふれる
名演を懐かしく想いだす方も多い
だろう。

1989年、東欧の民主化運動によ
りベルリンの壁が崩壊すると、チェコで
も「ビロード革命」により共産党政権
が崩壊する。民主化を主導したヴァー
ツラフ・ハヴェルが大統領に就任する
と、ハヴェルは亡命していたクーベリック
に《プラハの春音楽祭》でスメタナの
《わが祖国》をチェコ・フィルと演奏して
ほしいと要請。1986年、すでに

トンを受け継いだのがセミョン・ビシュコ
フである。バリ管の音楽監督、ケルン放送
響の首席指揮者などを歴任し、ベルリ
ン・フィルやウーィン・フィルとも共演を重
ねてきた現代屈指の巨匠ビシュコフは、
チェコ・フィルの豊かな伝統を存分に活か
し、チャイコフスキー、マラー、ドヴォル
ジャークなどの大型プロジェクトを次々
と成功させる。ビシュコフは、ドヴォル
ジャークの時代から受け継がれてきた
チェコ・フィルの滋味溢れる弦楽器の響
き、そして温かくニュアンスに富んだ管楽
器のサウンドに最大限の敬意を払いな
がら、自らの洗練された音楽性を活か
し、様式美に溢れる音楽を造形してい
く。いまふたたび黄金時代を迎えよう
とするチェコ・フィル。その実力が遺憾なく
発揮されるドヴォルジャーク、チャイコフ
スキーの名演奏にご期待いただきたい。

チェコ・フィルハーモニー 管弦楽団 セミョン・ビシュコフ[指揮] アナスタシア・コベキナ[チェロ]

2025年10月25日(土)
13:15開場 14:00開演
アークホール

好評発売中



公演情報

〈曲目〉
ドヴォルジャーク:チェロ協奏曲 口短調 Op.104
チャイコフスキー:交響曲 第5番 ホ短調 Op.64

〈料金〉全席指定 S席:18,700円 A席:16,200円
B席:14,300円 P席:12,700円
メンバーズ特制 S席:15,700円 A席:13,700円
B席:12,300円 P席:11,300円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。

能一人静

ふたりしづか

所沢ミュージズの夏の風物詩《能楽の世界》。今年は、絶世の美女、静御前の悲恋を題材とした能の名曲《二人静》を上演いたします。源義経と心を通わせながらも、義経が兄である源頼朝と対立したことで、物語は悲劇へと向かいます。二人の静が織りなす悲しくも美しい舞をご堪能ください。



義経を想う美しき舞
—— 静御前の愛と苦悩

静御前とはどんな女性だったのか

平安の三大美女のひとりに数えられるほどの美貌を誇った静御前。生没年さえ定かでないその生涯は、多くの史跡や言い伝えとなって日本各地に残され、千年近い時を経た今もなお、その悲運の人生に想いを寄せる人は少なくありません。1170年前後、平安末期に生まれたとされる静は、男装した女性が舞う「白拍子」として活躍し、舞の名人と謳われ人々を魅了しました。ある大干ばつの年、雨乞いの儀式に居合わせた義経がその姿に見惚れ、二人は恋に落ちたといいます。

源義経との恋—— 悲恋の幕開け

源平合戦で目覚ましい活躍を繰り広げ平家を滅亡へと導いた義経。しかし、その独断的で身勝手な行動は、兄であり時の権力者であった源頼朝との対立を深めました。そして1185年、ついに頼朝は義経討伐の命を下し、義経と静は追われる身となるのです。その後、逃亡の途上で静は捕らえられ、頼朝のいる鎌倉へと送られてしまいます。静が舞の名手であるという評判は頼朝の耳にも届いていましたが、頼朝の前で舞うことを断り続けた静は、鶴岡八幡宮へ奉納するという条件で、舞を披露することになります。しかし静はここで「静と呼んだあの人の、輝かしい時代に戻りたい！」

一人の静が織りなす悲しくも美しい舞！

と、愛する義経を慕う舞を披露し、頼朝を激怒させたと伝わります。その後、静は義経との間に宿した男児を出産しますが、この男児は頼朝に取り上げられ、由比ヶ浜の海に沈められてしまいます。傷心のまま京に向かったとされる静ですが、その後の消息を知る者は誰もいません…。

今回の『二人静』の主演は、重要無形文化財「能楽」の保持者である観世流能楽師 遠藤喜久。幼少の頃より国内外で2500を超える舞台に立ち、数々の名舞台を繰り広げてきた名手であり、所沢ミュージズにおいては2005年以来、20年にわたり能楽公演をプロデュースしてきました。近年では『杜若』『船弁慶』『葵上』といった作品で、圧倒的な名演を繰り広げて絶賛を浴びています。

『二人静』では、在りし日の静御前（シテ＝遠藤喜久）と、静御前の霊が憑依した菜摘女（ツレ＝新井麻衣子）が、二人の静となつて、同じ姿で舞台に立ち、まるで寄り添う影のごとく「相舞（あいまい）」を披露します。能面をつけた二人の役者が同じように舞うのは能の中でも特別な演出であり、高い力量が求められる難曲として知られます。義経との幸福だった日々を想いつつ、吉野山での悲しい別れを嘆く二人の静。その悲しくも美しい舞をどうぞご堪能ください！



静御前が源頼朝から命ぜられ舞を披露したとされる鶴岡八幡宮



葛飾北斎による白拍子姿の静御前
〔江戸後期／1820年頃〕



観世流能楽師
新井麻衣子
難曲『二人静』を
演じる



観世流能楽師
遠藤喜久
多彩な能企画が
好評を得ている



2023年に上演した『船弁慶』 静と義経の別れの場面

触れてみよう！ 能楽の世界 能「二人静」

2025年8月23日（土）
14:00開演
マーキーホール

良席僅少



公演情報

〈出演〉遠藤喜久〔観世流能楽師〕
新井麻衣子〔観世流能楽師〕ほか
〈料金〉全席指定 3,700円
メンバーズ特割 3,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。
※都合により出演者の一部が変更になる場合がございます。

関連企画②（各回40名／約45分）

特設能舞台に あがってみよう！

2025年8月22日（金）
1回目 14:00開始
2回目 15:30開始
マーキーホール

好評発売中

〈料金〉
全席指定 1,500円
メンバーズ特割 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。



関連企画①（約70分）

観て・聞いて・楽しむ 能楽プレ講座

2025年7月14日（月）
14:00開演
キューブホール

好評発売中

〈料金〉
全席指定 1,000円
メンバーズ特割 500円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。



開演前にもイベントが満載!

北欧ミニ雑貨マーケット
15:00～



開場中ロビーにて北欧ミニ雑貨マーケットを開催します。カラフルで愛らしい北欧雑貨の掘り出し物が見つかるかも?? ※写真はイメージです

開場後～
ロビーにて
ウェルカム演奏あり



開演前のステージにてオープニングLIVEを開催。スウェーデンの伝統楽器「ニッケルハルパ」の演奏で皆様をお迎えします!



協力:日本ニッケルハルパ協会

オープニングLIVE
15:40～15:50 (予定)

「メイポール」
「ダーラナホース」
が出現?!

夏至祭のシンボルでもある「メイポール」や、スウェーデンの伝統工芸「ダーラナホース」がロビーに出現?! フォトスポットとしても映えること間違いなし!



北欧の自然と調和する力強い演奏を心と身体で感じる!
歌と踊りで祝う「夏至祭」をミューズで体感!

北欧・スウェーデンの夏至祭

スウェーデン伝統音楽のオールスター
「ヴェスタノー」初登場!



Västanå

ヴェスタノー

スウェーデンの人にとって大切な夏至

北欧で暮らす人々にとって1年で最も特別な日「夏至」。緯度が高い北欧においては、冬の季節は昼間でも夜のように暗く、夏は太陽が沈まない「白夜」となります。長く厳しい冬を乗り越え、待ちにまつた夏の訪れを祝うお祭り、それが「夏至祭」です。一年で最も日が長い夏至に、皆で広場に集まって楽器の演奏に合わせて歌い踊り、夏の訪れを盛大に祝います。太陽の祭りとも言われ、陽の光を浴びる喜びを体いっばいに感じながら、北欧のごく短い夏の始まりを味わうのです。

大人も子供も歌い踊って熱気に包まれる

夏至祭の象徴として有名なのがメイポール。白樺の葉と季節の草花で飾ったポールを建て、その周りをスウェーデン伝統楽器のニッケルハルパや、フィドル(伝統音楽演奏のヴァイオリン)の演奏とともに、大人も子供も一緒に歌い踊ります。なかでも有名なのはスウェーデン語で「スモグロッドナ」と呼ばれる「カエルのダンス」。全員がカエルの真似をして飛び跳ねて踊る姿はお祭りならではの熱気と賑わいに包まれます。

夜になっても明るいため、歌い踊り疲れると食事をしてお酒をのみながら、また皆で歌い踊り楽しむという最高の時を共に過ごすのです。

伝統が色濃く残るヴェスタノー劇場

今回その「夏至祭」を、所沢ミューズで体感できるのが、「ヴェスタノー」公演。スウェーデン西部、ノルウェーとの国境近くに位置するヴェルムランド地方にあるヴェスタノー劇場の主要音楽監督であり、北欧フォークの第一人者・作曲家でもあるマグヌス・スティネルボムと、パートナーで指揮者、ピオラ奏者としても活躍するソフィア・スティネルボム夫妻が結成したバンドです。

お薦め動画 YouTube

Västanå Sessions
FLOGGING REEL
with Aly Bain & Ale Möller



北欧・スウェーデンの夏至祭
ヴェスタノー

[スウェーデン伝統音楽バンド]

2025年6月22日(日)
15:00開場 16:00開演
マーキーホール

好評発売中



公演情報

〈出演〉
ヴェスタノー[スウェーデン伝統音楽]
マグヌス・スティネルボム [ギター]
ソフィア・スティネルボム [ヴィオラ]
ダーヴィッド・ラーション [ギター・キーボード]
セバスティアン・デュベ [ベース]
クリスティアン・スヴェンソン [ドラムス、パーカッション]
テューヴァ・フェーデン [ヴァイオリン、ヴォーカル]

〈料金〉全席指定 3,700円 **メンバーズ特割** 3,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。託児サービスあり。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。

北欧伝統音楽の精鋭メンバーが集結!

伝統が色濃く残るヴェルムランドのヴェスタノー劇場は、音楽・演劇、ダンスの文化発信の拠点となっており、まさに伝統音楽の殿堂と呼ぶに相応しい劇場。北欧の自然や伝統を、現代的な感覚と融合させることで新しい芸術表現の可能性を提示し、国内外で高く評価されています。

マグヌスとソフィアは、ヴェスタノー劇場の舞台作品の音楽を手掛けながらバンドとしても多彩な活動を続けています。この2人に加えギター、ベース、フィドル、ドラムスのメンバー全員がスウェーデンや北欧音楽シーンを代表するスペシャリストばかり! 初来日となる今回の公演では、劇場という場に根差した音楽の力を余すところなく発揮し、スウェーデン伝統音楽に現代の新しい風を吹き込みながら、エネルギー溢れるステージをお届けします。思わず体が動き出すような、爽やかでリズム力

的な心躍る楽曲は、短い夏を最高に楽しもうという北欧に暮らす人々の思いや、生命の輝きに満ち溢れた一瞬一瞬を表現しているのかもしれない。

日本で北欧の風と音楽を体感できるまたとない機会。北欧の夏に思いをはせ、身体も心も弾ませながら所沢から夏の訪れを一緒にお祝いしましょう!

©Carles Tomás Martí



(上) 北極圏の白夜は1日中太陽が沈まない。夜中2時頃の様子。
(左) メイポールはスウェーデンでは「マイストング」とも呼ばれ、中世のドイツから伝わったとされている。



ヴェルムランド地方はノルウェーとの国境近くにあり、今も伝統が色濃く残る。



ヴェスタノー劇場は、地方劇場ながら年間25000人以上の観客を魅了する。



中心メンバーの、マグヌス&ソフィア・スティネルボム。正式なバンド名は「Magnus & Sophia Stinnerbom with Västanå Band」で、今回が初来日となる。

ステージレポート Stage Report

2月8日
~3月29日

2/8 (土) ニューイヤー・オペラ・ガラ・コンサート

〈アークホール〉

出演／高橋絵理、富平安希子、鈴木玲奈〔ソプラノ〕、
郷家暁子〔メゾソプラノ〕 樋口達哉、宮里直樹〔テノール〕
高橋洋介、押川浩士〔バリトン〕、赤星裕子〔ピアノ〕

曲目／

ヴェルディ：『リゴレット』より〈慕わしい人の名は〉

プッチーニ：『トスカ』より〈星は光りぬ〉

ほか



9 (日) ケレン・ギェルツェニヒ管弦楽団 サカリ・オラモ〔指揮〕 藤田真央〔ピアノ〕

〈アークホール〉

曲目／

ウェーバー：

歌劇『オベロン』序曲

シューマン：

ピアノ協奏曲 イ短調 Op.54

ベートーヴェン：

交響曲第7番 イ長調 Op.92



11 (火・祝) RINA Trio

〈マーキーホール〉

出演／

RINA〔ピアノ〕

須川崇志〔ベース〕

小田桐和寛〔ドラム〕

曲目／

ガーシュウィン：ラブソディー・イン・ブルー

RINA：ジョーカー ほか



22 (土) 鳥羽咲音〔チェロ〕 小林海都〔ピアノ〕

〈マーキーホール〉

曲目／ベートーヴェン：

《魔笛》の主題による7つの

変奏曲 変ホ長調 WoO.46

J.S.バッハ：

無伴奏チェロ組曲第6番

ニ長調 BWV1012

ブラーク：

チェロ・ソナタ FP 143 ほか



23 (日) THE CLASSICAL LEGEND!! コンサート session3 〜シューマン 愛の物語 編〜

〈アークホール〉

出演／岡本信彦〔声優〕

石井琢磨〔ピアノ〕

高木竜馬〔ピアノ〕

鳥尾匠海〔テノール〕

大槻桃斗〔ヴァイオリン〕

曲目／

シューマン：

「ピアノ協奏曲」から第1楽章

シューマン=リスト：「献呈」ほか



24 (月・祝) ズーラシアンブラス in エミテラス所沢

〈2階TOKOROZAWA e-CUBE〉

出演／

ズーラシアンブラス〔金管五重奏〕

曲目／ロッシーニ：

「ウィリアム・テル」序曲

幸せなら手をたたこう

静かな湖畔 ほか



3/9 (日) 人形浄瑠璃 文楽

〈マーキーホール〉

出演／

竹本千歳太夫〔太夫〕

竹澤園七〔三味線〕

吉田和生〔人形／人間国宝〕

吉田玉男〔人形／人間国宝〕ほか

演目／『二人三番叟』『絵本太功記』『近頃河原の達引』



3/15 (土) 原田真佑〔オルガン〕 郷古廉〔ヴァイオリン〕

〈アークホール〉

曲目／

フォーレ：子守歌 op.16

フランク/J-P.メルカールト編：

ヴァイオリン・ソナタ イ長調

ほか



3/18 (火) 福田こうへいコンサートツアー 2025

〈アークホール〉

曲目／峠越え

南部蟬しぐれ

庄内しぐれ酒

北の出世船

ほか



3/20 (木・祝) ジョン・ウィリアムズ トリビュートスペシャルコンサート with キース・ロックハート

〈アークホール〉

出演／

キース・ロックハート〔指揮〕

オーケストラ・ジャパン

曲目／スター・ウォーズ

ハリーポッター

インディ・ジョーンズ

ジュラシック・パーク ほか



3/29 (土) 2024年度オルガンスクール 修了記念コンサート

〈アークホール〉

講師演奏／

石丸由佳、原田真佑

出演／

2024年度オルガンスクール

修了生19名



写真撮影（市民カメラマン）／佐藤（2/8、3/15、3/29）三平（2/9、2/23、3/20）由井（2/11、3/9、3/18）西山（2/22）

チケットのお問合せは……ミュージズチケットカウンター

04-2998-7777

●窓口・電話予約10:00~18:00 ※休館日を除く

●インターネット予約

所沢 ミューズ

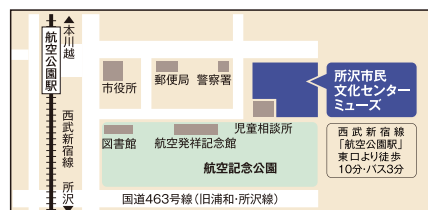
検索



クラシック・ポピュラー・演劇・
寄席など多彩で魅力溢れる公演
を開催しております！

詳細はミュージズホームページで
ご確認ください。

<https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



※公演情報は2025年4月24日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなることも
ございますので、ご了承ください。

今回のインフォ・マートは2025年7月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。